



微笑みりポート

「おひさまきらきら えがおがいっぱいのなんざんようちえん」

港区立南山幼稚園の8月

<熱くて（暑くて？）楽しい「南山なつまつり」>

今年も、南山幼稚園の夏の大イベント「南山なつまつり」を開催しました。地域の未就園の子供たちやインターナショナルスクールの子供たちも来園しました。

保護者の方々が準備したヨーヨーすくいやボーリング等ほか、麻布十番の地域の皆様のご協力により大型コリントゲームを貸していただいたり、日舞の先生方に盆踊りを教えていただいたりして「南山なつまつり」は大盛況で終了しました。

かなり厳しい暑さの中、子供たちの喜ぶ笑顔のために…と熱い思いをもって、汗だくになって協力してくださった皆様方に感謝申し上げます。

大人が力を合わせ、協力して何かを成し遂げる姿を見ることは、園児の成長から見て貴重な環境体験になるだけでなく、次の活動への意欲付けや、大人の発想を超えるような豊かな遊びの源、そして思いやりの芽も生まれます。保護者、地域の皆様のお力をいただきながら、園児のこれからの成長に結びつくように努めたいと思います。



<「手がましい」体験の積み重ねが育てる>

鹿児島に「手がましい」という言葉があるそうです。幼児が目の前にある物を手当たり次第に触ったり引っ張ったり、口に入れたり、放ったりして物と関わりながら遊ぶ様子を「手がましい」と言い、「手が、かしましい」という意味だそうです。



エネルギッシュな幼児の行為に、大人たちは目を細めて見守りつつも、時にはハラハラさせられることもあります。

幼児は、きっとこれは固い、伸びやすい、折れてしまう、重いが転がり易いということなどを、このような行為により本能的に生きる術として学んでいるのだと思います。物を見ると思わず手で触りたくなるのは、視覚による認識を更に確かめたい、深めたいという人間の本能的行為です。「手がましい」体験の積み重ねが、人としての深みを作っていくのではないかと思います。

☆ 2学期の、南山幼稚園の未就園児の会「こぼとクラブ」は、9月7日（水）から始まります。みなさん遊びに来てください。

★問合せ先

港区立南山幼稚園

☎ 3 4 0 8 - 4 7 8 5